

三次郷心会主催チャリティゴルフコンペを開催

12月6日(日)富士三次カントリークラブにて三次郷心会主催チャリティゴルフコンペを開催しました。今回は新型コロナウイルスの影響もあり開催が12月となり、寒空の中、5会員14名の方が参加しました。

今年の優勝は、三次貨物運送(有) 細川喜一郎様、準優勝は、(有)ちはや工務店 迫武夫様でした。ニアピン賞は、細川喜一郎様、迫武夫様、広島銀行 鎌田浩司様、ドラコン賞は、(有)ちはや工務店 加坂長治様、迫武夫様が見事獲得されました。尚、表彰式はコロナ禍のため行いませんでした。

次回はもう少し暖かい日を選んで実施いたします。今回見送られた方も、是非お仲間をお誘いあわせの上、ご参加くださいますよう、よろしく願いいたします。各賞の賞品は、三次郷心会会員企業様から購入させていただきました。



スポーツ観戦アンケート経過について

	カーブ	サンフレ	ドラフラ		開催日		移動手段
観戦したい	76%	18%	6%	土・日	36%	バス移動	24%
観戦は控えたい	24%	53%	53%	いつでも	41%	各自移動	76%
興味がない	0%	29%	41%	平日	23%		

(2月1日時点17会員回答)

アンケートへのご協力ありがとうございます。今後の観戦形態の参考にさせていただきますので、今月度も引き続きアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

第四回三次名人会『桂 文枝 独演会』チケット申し込みについて

既にご案内しております3月20日(土・祝)三次市民ホールきりりにて行われます、「桂 文枝 独演会」のチケット申し込みをご案内いたします。同封しております申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、もしくはメールにて、三次郷心会事務局宛にお送りください。申し込みの締め切りは、2月19日(金)です。尚、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきますので、ご了承願います。送付先：三次郷心会事務局宛

FAX: (0824) 63-3064

メールアドレス: miyoshikyo@mazda.co.jp



三次郷心会にご用命ください

郷心会では、会員様の事業(商品・製品・サービス・活動)を広報・PRする活動も致しております。三次をはじめ県内14の郷心会に約3,900の会員が入会されています。それら会員に向け、郷心会広報紙に“自社の商品の記事を載せてほしい”、“チラシを会員に配ってほしい”などのご要望がございましたら、お気軽にお申し出ください。お待ちしております。

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いいたします。
 三次郷心会 事務局 半田、上馬場 まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内
 TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064

マツダ、初の量産電気自動車「MAZDA MX-30 EV MODEL」を発売

—2050年カーボンニュートラルに挑戦。その第一歩となる電気自動車が登場—



「MX-30 EV MODEL」は、2050年時点のカーボンニュートラル実現へのチャレンジに向けて、マツダの「マルチソリューション戦略」にもとづき、LCA 評価によるCO2削減とお客様の使い方を両立するという新しい考え方から企画した、マツダ初の量産電気自動車です。

EV 専用に基本骨格、ボディを強化したマツダの新世代車両構造技術「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE (スカイアクティブ ビークル アーキテクチャー)」と、電動化技術「e-SKYACTIV (イースカイアクティブ)」により、思い通りに操れる走行性能と、様々なシーンで体感いただけるシームレスで滑らかな挙動を実現しました。

搭載するバッテリーは、LCA 評価によるCO₂排出量を抑えることと、買い物や通勤など、日常生活でのお客様の実用的な使用環境に見合った走行距離を考慮し、総電力量 35.5kWh としました。マツダの安全思想に基づいた先進安全技術「i-ACTIVSENSE (アイ・アクティブセンス)」を標準装備とし、全機種が「サポカーS・ワイド」に該当しており、サポカー補助金の対象です。是非一度、新しい技術を販売店にてご体験ください。

(『LCA 評価』とは：燃料の採掘・精製、製造、物流、使用、廃棄、リサイクルに至る、製品のライフサイクル全体における環境負荷 (CO₂ 排出量など) を、定量的に把握して影響を評価すること。)

マツダコネクティッドサービスについて

自動車産業に大変革をもたらすとされる「CASE (ケース)」。 「C」コネクティッド化 (Connected)、 「A」自動運転化 (Autonomous)、 「S」シェア/サービス化 (Shared/Service)、 「E」電動化 (Electric) の頭文字をとったもので、今回はその内「C」コネクティッド化と「S」サービス化を提供する「マツダコネクティッドサービス」をご紹介します。

MAZDA3 の発売以降、CX-30、MX-30 に加えて、この度 CX-5、CX-8 の商品改良で、マツダコネクティッドサービスが利用できるようになりました。(※MAZDA3 で一部利用できない車種があります)

マツダコネクティッドサービスは、お手持ちのスマホに専用アプリ「MyMazda」を入れることで愛車の状況が把握できたり、車両に搭載してある車載通信機により、緊急時の緊急通報サービスなどを受けることができるものです。ご購入車両の初年度登録日より3年間無償でご利用いただけます。では、いくつかの機能を簡単にご紹介します。

『便利』

ドアやトランクの閉め忘れ、ハザードランプ消し忘れなどをスマホへ通知。また、燃料残量の確認やスマホで設定した目的地をナビに送信したり、この他にも便利な機能があります。

『安心・安全』

メンテナンス部品の交換時期や別売りのバグアラームと連動して通知する機能などがあります。

『エマージェンシーコール』

外部サービスが提供する緊急通報サービスを利用できます。もしも突然、運転困難になった時や事故に遭遇した時など、車両からの通報で警察や消防と連携したサービスが受けられます。

『アドバイスコール』

車両故障などでお困りの際など外部サービスから適切なアドバイス・サポートが受けられます。

これからのクルマは、クルマとドライバーや様々なサービスと繋がることで安心、安全なカーライフを過ごしていただける世の中に移行していきます。詳しくは、マツダの販売店で最新のマツダ車に触れてご確認ください。また、マツダ(株)のホームページからもご確認ください。よろしくお祈りします。